

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：公衆衛生費 目：生活衛生指導費

| | | |
|------------|----------|-----------------------|
| 事業名 | 新 | 地域猫活動支援施設整備事業費 |
|------------|----------|-----------------------|

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部生活衛生課乳肉・動物指導係 電話番号：058-272-1111 (内 2564)

E-mail：c11222@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 **4,744 千円 (前年度予算額：0 千円)**

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|-------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 要求額 | 4,744 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,744 |
| 決定額 | 4,700 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,700 |

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・岐阜県動物愛護センター(平成26年4月開所)において、平成26年度から地域猫活動支援事業に取り組んでいる。
- ・地域猫(飼い主のいない猫)は、野外に生息しているため、様々な病原体を保有しているおそれがあり、譲渡対象動物と同じ施設、設備を共用することは、感染症拡大のリスクが高い。
- ・このため、動物愛護センターに地域猫専用室を新たに整備する。

(2) 事業内容

○地域猫専用室の建築

動物愛護センター内に地域猫の不妊去勢手術及び術前術後の管理を行うための機能を備えた地域猫専用室を整備する。

○備品の購入

不妊去勢手術を行うための手術台、ライト等の備品を整備する。

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県動物愛護管理推進計画に基づき、猫の引取り数削減を目指している
ので、県負担は妥当

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|-------|-------|-----------------|
| 工事請負費 | 4,106 | 建築工事一式 |
| 備品購入費 | 638 | 手術台、LED システムライト |
| 合計 | 4,744 | |

決定額の考え方

所要額を精査し計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県動物愛護管理推進計画

(2) 他県の状況

ア 13 都県が地域猫の不妊去勢手術を実施

うち、9 都県が手術室を、5 都県が飼養管理室を他の収容猫と共用

イ 地域猫活動以外の殺処分削減策

飼い主のいない猫の不妊去勢手術代を助成

新潟県 2, 500 千円 (R2 当初)

高知県 11, 487 千円 (R2 当初)

愛媛県 700 千円 (獣医師会に委託)

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか。

新たに専用の地域猫専用の飼養管理室（手術室を含む。）を整備し、譲渡動物への感染を防止するとともに、地域猫の不妊去勢手術を効率的に実施し、岐阜県動物愛護管理推進計画の引取り数の削減、殺処分数の削減を目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 | 指標の推移 | | 現在値 (前々年度末時点) | 目標 | 達成率 |
|-----|-------|-------|--|------------------|----|-----|
| | | | | | | |
| | | | | | | |

○指標を設定することができない場合の理由

単年度事業のため指標を設定するのが適切ではない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

動物愛護センターにおいて地域猫活動支援事業を行い、いわゆる地域猫活動に取り組む自治会等24団体を支援し、計157頭の不妊去勢手術を実施した。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

地域猫活動支援自治会数 24団体

不妊去勢手術実施数 157頭

地域猫活動支援事業の実施により、今後飼い主のいない猫の繁殖が抑制され、飼い主のいない猫（子猫）の引取り数の削減及び殺処分数の減少が期待される。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い | |
| （評価） ○ | 岐阜県動物愛護管理推進計画に基づき、猫の引取り数削減を目指しているので、県の関与は妥当。また、年々増加する地域猫の不妊去勢手術に適切に対応するため、地域猫専用室の設置は必要性が高い。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない | |
| （評価） ○ | 保健所等への引取り数が多い飼い主のいない猫の自然増を抑制する直接的な効果があるが、更に多くの地域の猫の不妊去勢手術に取り組む必要がある。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある | |
| （評価） ○ | 地域猫活動に取り組む自治会の猫を動物愛護センターで効率的に不妊去勢手術を行っている。 事業の実施により、更に効率性の向上が期待される。 |

(今後の課題)

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 地域猫活動支援事業の不妊去勢手術数が年々増加しており、限られた人員で処理するには限度があり、保健所に配置される獣医師や民間獣医師の活用等を検討する。 |
|--|

(次年度の方向性)

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか |
|--|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|------------------------|-------|
| 組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 | 【○○課】 |
| 組み合わせる理由や期待する効果 など | |

